

特 別 会 計

国民健康保険特別会計

6. 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計の決算状況は次のとおりである。

年度 区 分	令和3年度	令和2年度	増・減 (△)	前年度対比
予 算 現 額	16,484,628,000	17,327,811,000	△ 843,183,000	95.1
歳 入 決 算 額	13,943,348,838 (4,588,271)	14,094,583,890 (8,012,383)	△ 151,235,052 (△ 3,424,112)	98.9
歳 出 決 算 額	15,298,532,933	15,704,588,535	△ 406,055,602	97.4
差 引 額 (形式収支)	△ 1,355,184,095	△ 1,610,004,645	254,820,550	84.2
単年度収支	254,820,550	358,730,768	△ 103,910,218	71.0

(歳入決算額中の括弧内の金額は還付を要する額)

当年度の歳入決算額は139億4,334万8,838円で、歳出決算額は152億9,853万2,933円となり、歳入歳出差引額は△13億5,518万4,095円である。単年度収支については、2億5,482万550円の黒字となっている。

国民健康保険における当年度の加入世帯数は前年度より546世帯減の1万7,142世帯で、被保険者数は1,251人減の2万6,143人となり、年度末における全世帯及び全市民に占める加入割合は世帯数で前年度より1.1ポイント減の29.9%、被保険者数では0.8ポイント減の22.3%となった。

(単位：世帯・人)

区 分	全市		国保加入者		加入割合	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数
令和3年度	57,392	117,313	17,142	26,143	29.9%	22.3%
令和2年度	57,123	118,357	17,688	27,394	31.0%	23.1%

(令和4年3月31日現在)

(1) 歳入について

予 算 現 額	164 億	8,462 万	8,000 円
調 定 額	159 億	4,374 万	4,725 円
収 入 済 額	139 億	4,334 万	8,838 円
不 納 欠 損 額		9,475 万	9,107 円
収 入 未 済 額	19 億	563 万	6,780 円

款別の歳入状況を前年度と比較したのが次表である。

年 度 款 別	令和3年度	令和2年度	増・減 (△)	前年度対比
国民健康保険料	2,547,468,104	2,655,458,453	△ 107,990,349	95.9
一部負担金	0	0	0	-
府支出金	9,780,320,962	9,743,381,555	36,939,407	100.4
繰入金	1,541,625,000	1,563,089,000	△ 21,464,000	98.6
諸収入	15,616,772	22,643,882	△ 7,027,110	69.0
国庫支出金	58,318,000	110,011,000	△ 51,693,000	53.0
合 計	13,943,348,838	14,094,583,890	△ 151,235,052	98.9

当年度の収入済額は前年度に比べ1億5,123万5,052円(1.1%)減の139億4,334万8,838円である。

国民健康保険料については、1億799万349円(4.1%)減となっており、主な要因は、被保険者数の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免によるものである。なお、国庫支出金は、保険料減免分について国庫による財源措置が講じられているが、保険料減免が前年度比で減少となったことなどにより、5,169万3,000円(47.0%)の減、繰入金においても、保険料の軽減額に対する基盤安定負担分が、被保険者数の減少により減となったことなどから、2,146万4,000円(1.4%)減となっている。また、府支出金は、前年度のコロナ禍による受診控えからの回復などによる受診件数の増加により保険給付費が増となったことに伴い、その費用の全額が交付金で賄われることから、3,693万9,407円(0.4%)増加している。

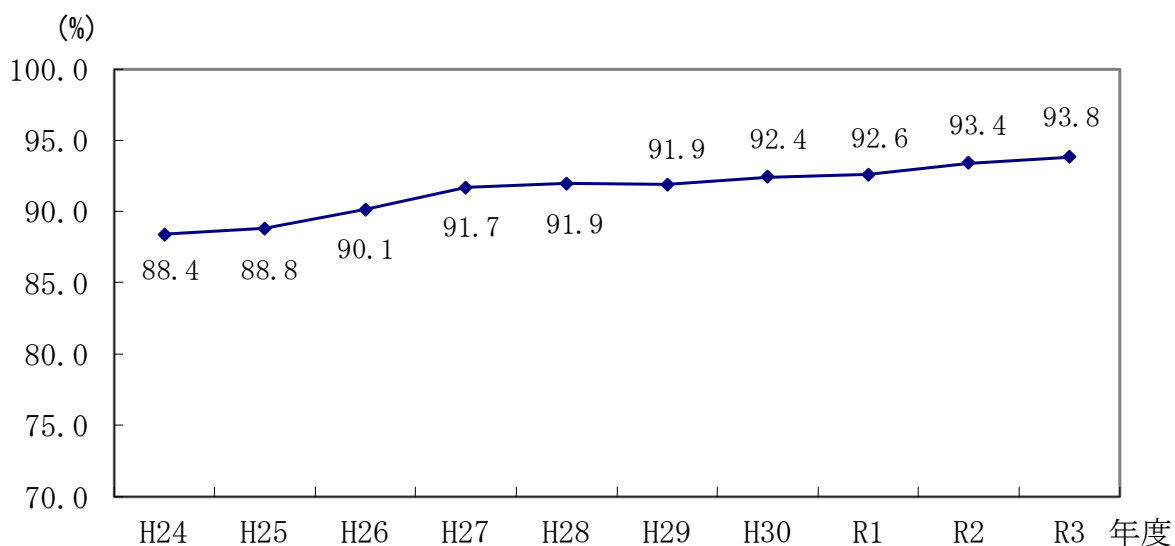
国民健康保険料の収納状況及び収納率の推移は以下のとおりである。

区	分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	一般	2,514,459,852	2,359,732,482	0	154,727,370	93.8
	退職	0	0	0	0	-
	小計	2,514,459,852	2,359,732,482	0	154,727,370	93.8
滞納繰越分		1,983,605,282	187,735,622	93,885,482	1,701,984,178	9.5
合計		4,498,065,134	2,547,468,104	93,885,482	1,856,711,548	56.6

(収入済額は還付未済額を含む。)

当年度の国民健康保険料収納率は、現年度分で前年度を0.4ポイント上回る93.8%となった。

なお、現年度分の過去10年間の収納率は、次のグラフのとおり、右肩上がり推移している。



また、不納欠損額は前年度より997万6,715円増の9,388万5,482円となっており、収入未済額は前年度より1億2,401万8,494円減の18億5,671万1,548円となっている。

区分	年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	不納欠損額		93,885,482	83,908,767	100,313,974	120,833,673
収入未済額		1,856,711,548	1,980,730,042	2,095,433,882	2,180,970,104	2,285,791,074
	現年度分	154,727,370	174,196,705	207,252,848	215,862,741	243,752,578
	滞納繰越分	1,701,984,178	1,806,533,337	1,888,181,034	1,965,107,363	2,042,038,496

(2) 歳出について

予 算 現 額	164 億	8,462 万	8,000 円
支 出 済 額	152 億	9,853 万	2,933 円
不 用 額	11 億	8,609 万	5,067 円

款別の歳出状況を前年度と比較したのが次表である。

款 別 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	増・減 (△)	前年度対比
総 務 費	218,011,038	270,153,473	△ 52,142,435	80.7
保 険 給 付 費	9,467,133,023	9,381,624,655	85,508,368	100.9
国民健康保険事業費納付金	3,874,122,095	3,989,443,681	△ 115,321,586	97.1
保 健 事 業 費	100,053,483	86,548,067	13,505,416	115.6
公 債 費	2,820,925	2,369,478	451,447	119.1
諸 支 出 金	1,636,392,369	1,974,449,181	△ 338,056,812	82.9
予 備 費	0	0	0	-
合 計	15,298,532,933	15,704,588,535	△ 406,055,602	97.4

当年度の支出済額は、前年度に比べ4億605万5,602円(2.6%)減の152億9,853万2,933円である。

保険給付費については、8,550万8,368円(0.9%)増となっており、主な要因としては、被保険者数が減少しているものの、コロナ禍による受診控えからの回復などにより受診件数が増加していることによるものである。

また、諸支出金については、繰上充用金の減少が主な要因となり3億3,805万6,812円(17.1%)減の16億3,639万2,369円となっている。

区 分 年 度	被保険者数(人)	総医療費(円)	1人当たり 医療費(円)	受診件数(件)	1人当たりの 受診件数(件)
令和3年度	26,958	11,027,583,702	409,065	478,413	17.7
令和2年度	27,894	10,892,172,251	390,484	464,542	16.7
令和元年度	29,042	11,875,688,043	408,914	515,985	17.8
平成30年度	30,616	12,323,540,734	402,520	539,250	17.6
平成29年度	32,486	12,623,463,372	388,582	565,945	17.4

(被保険者数は年間平均数)

当年度の総医療費は110億2,758万3,702円で前年度より1億3,541万1,451円(1.2%)の増となっている。1人当たりの医療費については、医療の高度化などの要因により前年度より1万8,581円(4.8%)増の40万9,065円、1人当たりの受診件数についても1.0件(6.0%)増の17.7件となっている。

総医療費と被保険者数の過去10年間の推移は次のグラフのとおり減少傾向にあり、平成24年度と比較すると総医療費で28億9,773万5,805円(20.8%)の減、被保険者数については14,115人(34.4%)の減となっている。

